



1. 概要

本図面は、PC-9821 が標準で搭載している FD1231T または FD1238T を取り外し、PC/AT 互換機用 FDD を接続する際に FDD に対して改修を行う図面である。

PC-9821 Ls12/D10 への接続は、別途「FDDインターフェイス変換基板回路図」と合わせて改造を行うこと。

2. 材料

YD-702D-6639D (コントロールチップに BH9522KS2 を搭載した個体)

3. 改造内容

A. 1、33 番ピンが GND へ接続されているので、パターンを切断する。

B. 2 番ピンがコントロールチップの Mode Select へ接続されているので、ジャンパを外しする。

※ジャンパの詳細は、別紙参照

C. 34 番ピンがコントロールチップの Disk Change 側へ接続されているので、Ready 側へジャンパを移設する。

※ジャンパの詳細は、別紙参照

D. ドライブ番号を DX1 から DX0 とする必要がある場合に限り、ジャンパを移設する。

※ジャンパの詳細は、別紙参照

E. 1 番ピンとジャンパ「IF」を接続する。

F. 33 番ピンとジャンパ「DC」を接続する。

ただし、「FDDインターフェイス変換基板回路図」を用いて FD1238T 搭載機に接続する場合は接続しない。

4. 特記事項

A. 改造した FDD と PC-9821 を接続する際は、端子のピンサインに注意すること。

B. 1 番ピンへ 360/300 信号を入力する時は、ジャンパ「IF」と「T2」を有効とする事でそのまま使用できる。

「IF」を有効、「T2」を無効とした場合は、74HC14 などを用いて信号を反転させること。

工事名称	PC-9821 PC/AT 互換機用 FDD 接続計画	工事設計図
------	-----------------------------	-------

図面名称	YD-702D-6639D 改修図	縮尺	N / S	1
------	-------------------	----	-------	---

 <b>試運転の資料館</b> Library of Shiunten	1
	1